

平成 28 年度 自治会懇談会（伊達東仮設住宅、伊達方部）

○日 時：平成 29 年 2 月 4 日（土） 10：00～12：10

○場 所：伊達東地区交流館

○出席者：63 人

○質疑応答

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 平成 29 年 3 月 31 日の避難指示解除時期は仕方がないが、戻る人は自己責任で戻れと言っているように感じる。医療、買い物、生業、生活等のビジョンが示されていない。解除前に安心して帰れる環境を整備すべきであった。 | 自己責任と言われるとその通りかもしれないが、村から指示されて動くとなると後々悔しさが出てくる。村としては、それぞれの意思を尊重し、自分達で考え、前を向いて進んでいけるように環境整備を進めていく。 |
| 2 | 見守り隊の趣旨は、自分の地区は自分たちで守るというもの。今年度からトーネットに丸投げになり、村外の人が入ってきた。村外の人に一軒一軒の個人情報を知っているのと一緒。村民の不安が増すという逆効果になっているので、今のパトロールはやめた方がいい。 | 見守り隊は、発足当初は 400 人体制であったが、国の補助制度が変わったため、現行の 80 人体制になった。（他市町村は 10 人程度）トーネットにはできるだけ村民を雇うようにと言っているが、村民の応募がないのではないか。トーネットに確認するが、来年度も現行の 80 人体制でやっていきたい。 |
| 3 | 臼石で牧野をやっていた。来年度牛 2 頭をやろうと思っている。何年に戻るか分からないが、牧野利用組合を成功させたい。いい方法があれば教えてほしい。 | 村に戻っていただけるのはありがたい。飯舘は畜産の村であった。牧野も畑と同じ値段で賠償してもらっている。牧野利用組合の賠償金については、地区で話し合いうまく使ってほしい。今年度から戻って畜産をしている人もいる。10 頭を限度に 1 頭当たり 40～50 万円補助できると思う。合致する制度はあると思うので担当者を探させたい。 |
| 4 | 避難によって 1 世帯が 4 世帯になっている世帯もある。福島や東京や沖縄に避難している世帯もある。避難所から県営住宅に引っ越して 80 万円かかったケースも聞く。引っ越し費用について、公平にして欲しい。村の医療・介 | 避難により 1,700 世帯から 3,200 世帯とほぼ倍になった。細分化すると一軒一軒少額になってしまう。ふるさとを守る方を優先させていただいた。戻れない方には、仮設住宅等の延長や、子どもたちには行事の参加等を実施して |

| | | |
|---|---|--|
| | 護の状況では戻りたくても戻れない人もいる。 | いる。両方を同じようにすることはできない。 |
| 5 | いつまで村民でいられるのか。できる限り長く村民でいられるよう国に強く要望してほしい。 | 村に住所がある限り村民。現在特例で二重住民票のようなことが認められている。飯舘に住所を残し伊達市に避難していれば、国から伊達市に一人当たり 42,000 円交付される。これがいつまで続くかはっきりしない。切れた時にはどこの市町村に住むか選ばなければならない。復興創生期間最後の平成 32 年まで続けば上々。それ以上はないと思う。 |
| 6 | 焼却炉を建設する際にきちんと住民に説明したのか。処理した水はどうなるのか。汚染された水が南相馬まで流れてくるとの噂を聞いたことがある。焼却灰の処理はどうなるのか。この場で説明してほしい。 | 焼却炉を建設する際、3 カ所候補地があったが、小宮だけが理解をしてくれた。その後、蕨平も理解をしてくれた。蕨平の焼却炉を建設するには、周辺市町村の汚泥の処理が条件となった。周辺市町村には避難の受け入れ等助けてもらっているのでもやむなしとなった。そのおかげで 100 億円の家屋解体を国にやってもらっている。説明は住民や議会に対して行っている。処理水については検査・確認して処理しており、問題ないと思っている。不安に思っている方がいるのであれば、もう一度焼却炉の会社に確認し、広報等でお知らせする。 |
| 7 | 4 月からの村のサービスの全貌が見えない。一人暮らしの宅配サービス、介護サービスの斡旋等。今後半年間のスケジュールが見えないのが残念。 | 宅配事業はコープが行う。商工会も共同店舗や食堂を検討している。決まったことは随時お伝えしていくが、議会の議決を得ないと確たることができないことはご理解願いたい。菊池製作所、ハヤシ製作所、特老に人が集まらない。居を遠くに構えると難しいのは分かるが、解決しないと中々進まない。 |
| 8 | ガソリンスタンドの洗車の高濃度の汚泥を飯舘村で処理するという記事が新 | 福島農林が拡大したいと言い、県が許可をしたもの。話は聞いていたが内容 |

| | | |
|----|--|---|
| | 聞に出た。お互い様の精神で受けたのか。 | は知らなかった。間違いがないよう管理したい。 |
| 9 | 医療費負担の減免、高速道路の無料化はいつまで続くのか、続くよう強く要望してほしい。 | 単年度で議論されるもの。単年度だと不安が助長されるので、期間を決めて欲しいと要望しているが難しい。その都度話をしていきたい。 |
| 10 | 草野の県道沿いのフレコンは見栄えが悪いので、早期に移動してほしい。 | バイパスを予定しているのでそのうち移動すると思う。目につくところは早く運んでほしいと要望している。また、各市町村均等に運んでいるためフレコンの量が多い飯舘はなかなか進まないで、量も考慮して運ぶよう要望している。 |
| 11 | 母とともに飯舘村に住もうと思っているが、道の駅に村民が作った手芸品等の個人ブースを置くことができないと聞いたが本当か。母が高齢のため、内職仕事しか収入を得る手段がない。 | 「までいガーデンビレッジいいたて」という会社を作って、管理運営を行うことになる。その会社が村民を阻害することはない。 |
| 12 | 村内にはホットスポットがまだまだあるはず。村内に計測している人がいるが、データが入ってこないから聞かれても答えられない。心配している村民がいるから、環境省に相談にのるよう要望して欲しい。 | 現在、50mメッシュでモニタリングマップを作っている。3月末にデータが出てくる。来年度の5月頃には皆さんに渡せるのではないかな。 |
| 13 | 現在、野菜は作ってはいけない、食べてはいけない、譲ってはいけないとなっているが、いつ解除になるのか。データを示してほしい。自家消費をする際には、必ず検査をしてから自家消費をすることを村民に徹底してほしい。 | 今年度20数か所でデータを採取し、全てOKだった。作って自家消費をするのは大丈夫だが、配ったり売ったりするのは検査を受ける必要がある。現在、担当がお知らせする準備をしている。作る場合は、役場に届出をお願いしたい。いちばん館に非破壊式の検査機を置いてあるが、来年度は9台設置する予定。ただし、山のものは食べないで欲しい。 |
| 14 | 地域コミュニティが戻れば何とかやっけていける。そのためには、地域のお助けあいが必要。震災前にあったお助け | 地域のお助けあいの重要性は認識している。再開できるよう検討している。 |

| | | |
|--|---------------------------------------|--|
| | あい事業を地域で検討し、地域の実情に合った形で再開できるようにしてほしい。 | |
|--|---------------------------------------|--|